

☆定 格 ☆

型 構 用	名 造 途	MC 101	MC 102	MC 103	MC 104
		PNP合金ドリフト 周波数変換用	PNP合金ドリフト 周波数変換用	PNP合金ドリフト 高周波増出用	PNP合金ドリフト 高周波増出用
最 大 定 格 (25°C)	エミッタ電圧(V)	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5
	コレクタ電圧(V)	-40	-40	-40	-40
	エミッタ電流(mA)	10	10	10	10
	コレクタ電流(mA)	-10	-10	-10	-10
	コレクタ電力(mW)	60	60	60	60
特 性 (25°C)	周波数(保存時)(°C)	-55 ~ +85	-55 ~ +85	-55 ~ +85	-55 ~ +85
	コレクタ遮断電流 (μ A)	最大-15 ($V_c = -10V$)	最大-15 ($V_c = -10V$)	最大-15 ($V_c = -10V$)	最大-15 ($V_c = -10V$)
	短絡電流増出率	30	40	50	60
	遮断周波数(Mc)	15	25	35	50
$V_c = -6V$ $I_c = 1mA$	コレクタ容量(pF)	1.7	1.7	1.7	1.7
	ベース抵抗(Ω)	30	40	50	50

またチューナを接続するようになりになるなど種々の応用できる。

ナショナル ハイファイステレオアンサンブル

HE-2

本機はステレオコードが演奏できるステレオレコード

プレーヤ (HP-2) と、プレーヤに組込んだ2バンドチューナ (HR-2)、更に5W型 Hi-Fi アンプ付2ウェイスピーカシステム (HAS-2) の3つの製品を組合せた、本格的ステレオ再生装置で上記スピーカシステムを2台使用することにより、完全なステレオ演奏が行える。



☆特 徴 ☆

ステレオプレーヤ (HP-2)

- 1) ステレオレコードは勿論、LP, EP, 16, 78 のいずれのレコードも1個のカートリッジで演奏できるターンオーバー式ステレオビックアップ付。
- 2) ハム・雑音の極度に少ない新設計4コイル4スピードフォノカート使用。
- 4) チューナはめ込み型に美麗扉付。

2バンドチューナ (HR-2)

- 1) 放送を Hi-Fi でできる広帯域中間トランス付。
- 2) 中波・短波受信及びFM・ステレオ演奏の切替操作を一つのダイヤルで行える。
- 3) FM チューナ接続コネクタ付。

アンプ付スピーカシステム (HAS-2)

- 1) 2ウェイ方式を採用。
- 2) 出力回路に 6AR5 ボックス・フル 3W Hi-Fi アンプを組込んでいる。
- 3) 電源自給アンプのため、本機にレコーダを接続すると電源に、

☆定 格 ☆

ステレオプレーヤ (HP-2)

- フォノカート TR-14A 4スピード ユニユニイブ 速度微調整付
- ビックアップ STX-25 ターンオーバー式 ステレオクリスタル
- カートリッジ SC-501 交換針 {ステレオLS-4(ST) SP LS-4(78)}
- 出力 ST-LP 0.5V/1000% SP 0.4V/1000%
- 電 源 50-60% 100V
- 消 費 電 力 13VA
- 寸 法 480×190×380mm
- 重 量 7.6kg

2バンドチューナ (HR-2)

- 受信周波数帯 MW 535~1635kc SW 3.7~12Mc
- 中周周波数 445kc
- 感 度 MW 80 μ V/0.1V SW 100 μ V/0.1V
- 電 源 HAS-2 より供給
- 消 費 電 力 5VA
- 寸 法 190×145×205mm
- 重 量 1.2kg

アンプ付スピーカシステム (HAS-2)

- 使用真空管 6AV6 (3本) 6AR5 (2本) 6X4
- 入 力 入力0.26Vで無負最大出力
- 電気的出力 無負 3.5W(1%) 最大 5.5W
- スピーカ 高音用 6cm ツィーター 低音用 20cm コーヒー
- チューナ電源 A電源 AC 6.3V 1.1A B電源 DA 200V 20mA
- 電 源 50-60% 90-100V
- 消 費 電 力 50VA
- 寸 法 480×430×380mm
- 重 量 11kg

ナショナル 2バンドステレオラジオグラフ

AG-836

本機は従来のラジオグラフと同様に、シングル演奏用ラジオグラフとして高性能を発揮するだけでなく、手持ちのラジオを本機に接続することにより、ステレオレコードによるステレオ演奏が楽しめるように設計されたラジオグラフである。



☆特 徴☆

- 1) ステレオピックアップ付で、手持ちのラジオのPU端子にリード線をつなぐだけでステレオ演奏が行える。
- 2) 18×10cmの大楕円スピーカを2ヶ使用した、2スピーカー方式の採用。
- 3) セミトランスレス回路を採用しているため、普通のトランスよりも出力が大きく豊富な音量が得られる。
- 4) このほか、FMチューナ接続端子、イサネーンソケット付などの特徴を有している。

☆定 格☆

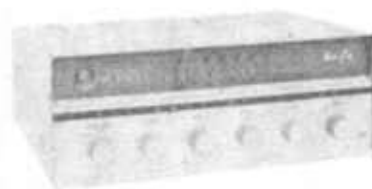
●受信周波数帯	MW 535-1605kc SW 3.7-12Mc
●中間周波数	455kc
●使用真空管	12BE6, 12BA6, 12AV6, 90A5, 35W4
●回路方式	セミトランスレス回路
●受信感度	MW 80 μ V/50mW SW 100 μ V/50mW
●出力	無音 1.8W 最大 2.6W
●スピーカ	18×10cm 楕円スピーカ2ヶ
●ピックアップ	STX-36 ステレオクリスタル型
●オートリッパ	SC-502 交換針 (ステレオ LS-4(ST) SP LS-4 (78))
●フオートロー	6H-12A 4スリットアロハス材付
●電 源	50-60% 100V
●消費電力	42VA (ラジオの場合27VA)
●寸 法	490×255×350mm
●重 量	8kg

ナショナル AM-FM オールバンド

10W Hi-Fi チューナーアンプ

AS-918

本機はこのFM放送をはじめ、中波・短波放送も美しいハイファイ音でキャッチするとともに、LPレコードの音を歪みなく再生するオールバンドチューナ付10W総合Hi-Fiアンプである。



☆特 徴☆

- 1) AM-FM 専用真空管として特に設計した 6AQ8, 6AL5 などを使用しているから高感度で安定した性能を発揮する。
- 2) 新しい Hi-Fi 専用複合管 6BM8 を2本使った、リレー回路を採用した10W型であるから迫真力ある音で再生する。
- 3) AFC (自動周波数安定回路) 及びリミッタ・AVC を完備しているから、特にFM放送受信の場合、機内の温度上昇による周波数ズレもなく、しかも雑音の少ない美しい受信が行える。
- 3) プリアンプを自蔵しているから、低出力のレコープレーの増音再生は勿論のこと、マイク・テープレコーダもつなげる万能型。

☆定 格☆

●受信周波数	MW 535-1605kc SW 3.9-12Mc FM 80-90Mc
●中間周波数	AM 455kc FM 10.7Mc
●使用真空管	6AQ8(2本), 6BE6, 6AL5, 12AX7 6BM8(2本), 6CA4, 6ZE1 OA79(ディオード)
●組合帯域巾	MW DX ± 2.5 kc FULL ± 8 kc SW ± 2.5 kc
●受信感度	MW 200 μ V/500mW SW 200 μ V/500mW FM 100 μ V/500mW
●周波数特性	30-20,000% -0.5 db
●最大出力	10W
●歪 率	出力8Wに於いて1%以内
●雑 音	-46 db 以上
●入力端子	MAG. 入力1kc 10mVにて無音最大出力 AUX. 入力1kc 0.3Vにて無音最大出力
●出力端子	スピーカ 8 Ω ・16 Ω 録音出力端子
●電 源	50-60% 100-110V
●消費電力	70VA
●寸 法	430×160×235mm
●重 量	8.2kg